

安全マップ

習志野市立津田沼小学校編

対象：4年生

安全に生活しよう

安全マップ

交通安全

防 犯

子ども

- ①自分で気付く
- ②自分で考える

教 師

- ①危険箇所への把握
- ②通学路の見直し

安全マップ作成 準備する物

①学区の地図

人数分 or 班の分

②学区の地図

拡大版1枚

③シール

④カラーマジック

安全マップ作成手順

①地図上で、通学路を確認する。

②危険だと思える箇所に印を付ける

③クラスや班で
印を付けたところについて話し合う。

④どんなところが危険なのか確認する

⑤マップの完成

安全マップ作成手順

②危険だと思う箇所に印を付ける



子どもたちの視点

- ①道幅が狭い
- ②車通りが多い
- ③横断歩道
- ④工事現場
- ⑤交差点

交通安全

- ⑥街灯が少ない
- ⑦怖い思いをした

防 犯

子どもたちの感想

- 自分は大丈夫だと思っていた
- こんなに危険なところがあると思わなかった
- 意外と危ないところが多い
- 塾の帰りなどにも気を付けたい

安全マップ作成後の指導

①安全について考える

②危険予知1 絵から読み取る

③授業参観での実践

④危険予知2 学区の写真から

⑤安全マップを見直す

安全マップ作成後の指導

①安全について考える

- 横断歩道は本当に安全か？
- 信号を守っていれば本当に安全か？



- 自分で
安全確認することが重要

安全マップ作成後の指導

②危険予知 1

- ・ イラストから
どのような危険があるか読み取る

- ・ 危険を回避する方法について考える

- ・ 危険を回避する方法を知る

安全マップ作成後の指導

③授業参観での実践

どんな危険があるかな？

- トラックのタイヤ
- 信号のない十字路
棘 ぶっかかりそう (色んな方向から車)
- 右せつする車が歩行者にぶっかかる
- 車のスピード、ぶっかかる
- 車と子どもぶっかかる

目力かるには？

- 声をかける
- 坂道でスピードをおどす

自分ででき

- 一時でい止
- 左右確認
- まわりを見る

横断歩道は安全なはず？

予知能力を身につける

- 一時でい止
- スピードをおどす
ずとまめるように
- 早目にユニカーを出せ
車・バイク

- 旗で合図
- 信号・標しき
棘 標しき

やってもらう

- 自転車とび出し
- スピードの出た自転車
- うしろから車

道路でも、ボール
まどわれる
公園の中

- よく見運転 → 前みて、左右確認
- 自転車広がり → 左に1列

保護者も一緒に考える機会となった

安全マップ作成後の指導

④危険予知2

- ・安全マップ上の危険箇所の実際の場所を写真をもとに危険予知、危険回避について考える



- ・身近な危険を回避するすべを知る。
- ・これまでの学習を実生活に活かす。

安全マップ作成後の指導

④危険予知2

- ・ 見通しの悪い道路
- ・ 左右の確認が必要
- ・ 自転車から降りる



- ・ 道路から離れて歩く
- ・ 車が止まってから渡る



安全マップ作成後の指導

⑤安全マップの見直し

- ・作成した安全マップを見直す。

- 
- ・安全な登下校の方法を知る。
 - ・安全に生活する方法があることを理解する。
 - ・今後の自分たちの行動につなげる。

子ども

安全マップ作成の利点

交通安全

防 犯

- ①情報を共有しやすい
- ②危険の認識の仕方が変化する
- ③危険を恐れるだけでなく、
回避しようとする心が育つ
- ④保護者と連携して学習できる

教師

安全マップ作成の利点

交通安全

防 犯

- ①子どもから情報を得られる
- ②登下校時以外の時間帯の様子について知ることができる

安全マップ作成の課題

- ①作り始めるまでの抵抗感
- ②作成して終わりせず、
見直すことが必要
- ③指導計画への位置づけ

安全マップ

習志野市立第五中学校編

対象：1年生

危険判断力をもとう

安全マップ作成手順

①自分の通学路を鉛筆でなぞる。

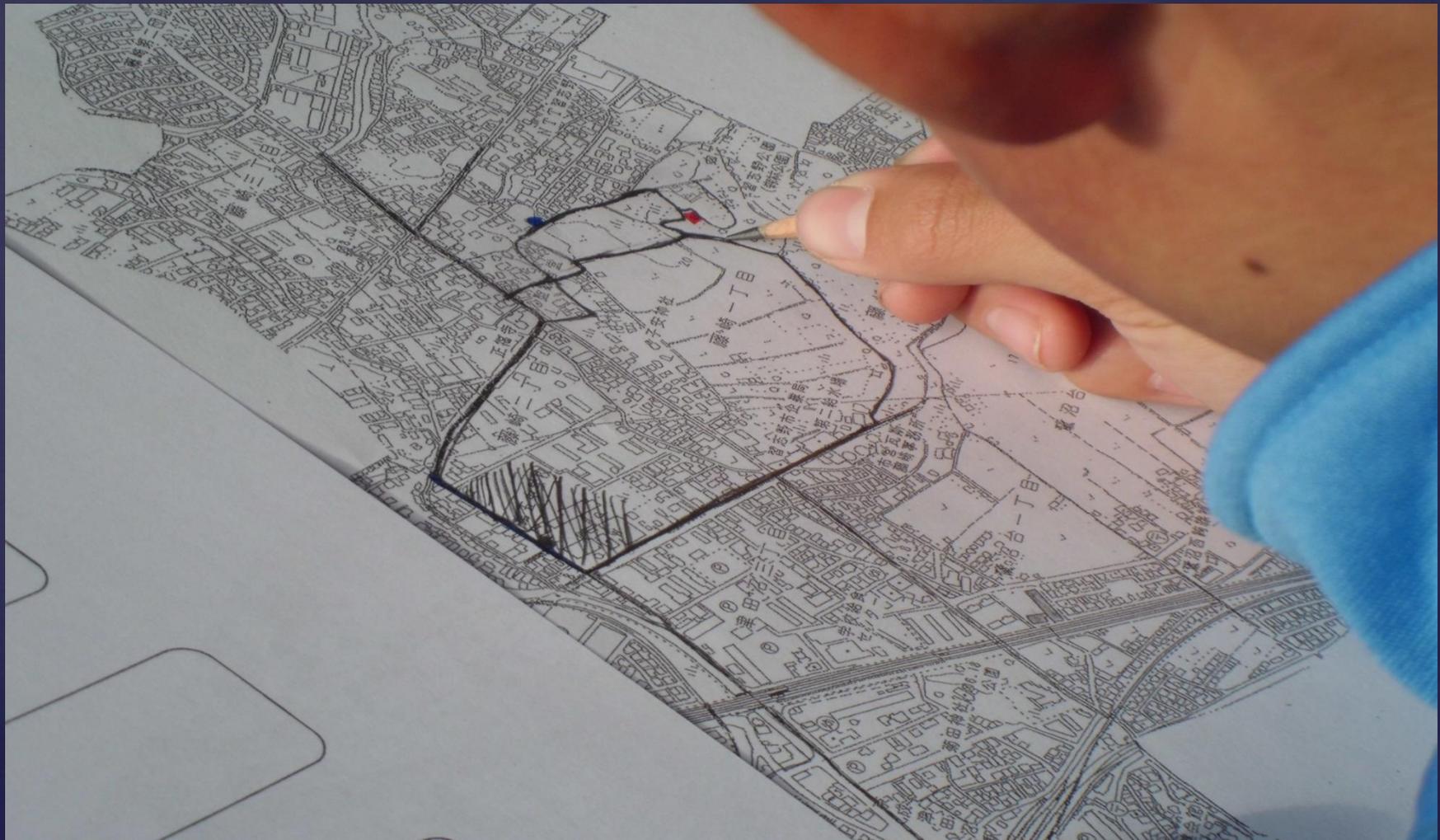
②危険だと思う箇所に印を付け、
理由を書く

③危険箇所とその理由を共有する。

④他に危険なところがないか話し合う

⑤マップの完成

①自分の通学路を鉛筆でなぞる。



②危険だと思う箇所に、
印をつけ理由を書く。

坂が急な所で
雨の日などに
自転車が
滑ると
危険です。



生徒の作成した安全マップ

感想

自分か「ほほ」毎日通る道に
こんなたぐい人の危険がある事を
改めて知ることかできてよかった。
今後は気を付けて通る
ようにしたいと思う。
自分自身も危険な事をしないように
したいと思う。

全体
歩みスマホや歩きスマホをよく見かける。

信号がなく車の
通りも多いから危険
だと思う。

歩道と車道の区別が
なく車かぎたとき
とても危険。

人が2人しか並べない
ような道に自転車や
スクーターを出して通る
から危険。

しゃべりながら歩
いている人がいる。

線が近くで、歩道
車として区別が
ないから危険
だ。



感想

自分か「ほほ」毎日通る道に
こんなたぐい人の危険がある事を
改めて知ることかできてよかった。
今後は気を付けて通る
ようにしたいと思う。
自分自身も危険な事をしないように
したいと思う。

全体
歩みスマホや歩きスマホをよく見かける。

信号がなく車の
通りも多いから危険
だと思う。

歩道と車道の区別が
なく、車かぎたとき
とても危険。



③危険箇所、その理由を共有する



④自分で考えた危険な場所の他に、危険なところはないか話し合う



・信号が、あれば横断歩道は安全なのか？

・道から、急に自転車や、バイクが飛び出してくる道はないか？

本当の安全な登下校とは？

感想
感想

自分が「ほぼ」毎日通る道に
こんな大変さの危険がある事を
改めて知ることかできてよかった。
今後は気を付けて通る
ようにしたいと思う。
自分自身も危険な事をしてほ
うにしたいと思う。

感想

思っているより登下校に
あぶない戸所がたくさん
ありました。

自分の行動できけんにな
ってしまうので。
自分の行動を考えます。
気をつけます。

自身の行動によってもたらされるものである